



乗り込み口は、広い乗り降りスペースに加えて段差の少ないフラットトレイも搭載



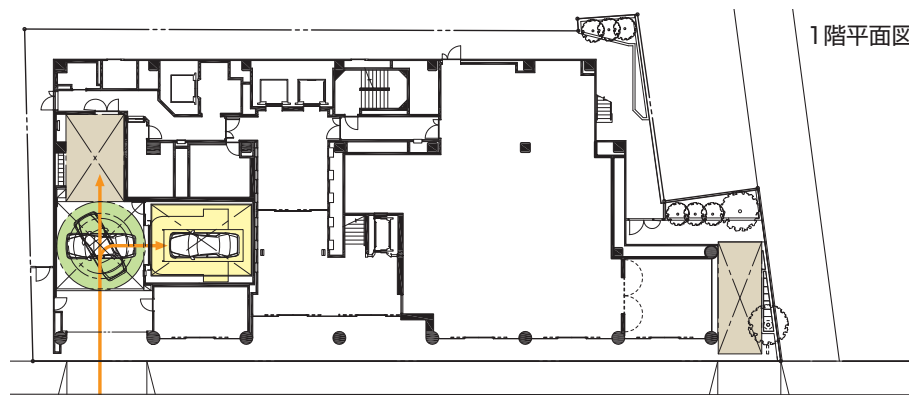
限られたスペースで高い収容能力を実現する日精のCSパーキング

銀座エリアの中心地という立地柄、有料駐車場として重要な役割を果たすクロス銀座のパーキング設備には、日

精の平面往復方式CSパーキングが設置されています。限られたスペースを最大限に活かす、コンパクトな設計と高い収容力が評価されての採用でした。

収容台数は五十一台。そのうち十七台分は、ファミリ層を中心に利用者が増加しているハイルーフ車にも対応しています。また、乗込口スペースはバリアフリー設計で、○九層以上の通路幅と幅一・四層／奥行き一・七層以上の回転スペースを確保。トレイには段差のないフラットトレイも採用しており、車椅子や高齢者の方も負担を感じることなく、入出庫作業や駐車スペース内の移動を安全かつスムーズに行うことが可能です。

ユーザの利便性と快適性を追求する日精は、最先端のテクノロジーを駆使したパーキングシステムを提供することで、これからも新しい時代のニーズにお応えしてまいります。



1階平面図



平面往復方式CSパーキングの構造写真



発行日：2012年4月1日
通刊第26号
発行：日精株式会社
パーキングシステム事業部
〒105-8411 東京都港区西新橋1-18-17
明産西新橋ビル
TEL. 03-3502-9555～7(ダイヤルイン)

本誌掲載の写真・記事の無断転載および複写を禁じます。

最後に改めて、取材に当たり、ご協力いただきました皆様方に厚く、厚く御礼申し上げます。

日頃より「COM」をご愛読いただきまして、ありがとうございます。編集スタッフ一同、心から感謝申し上げます。

今号の建築家インタビューでは、永山祐子先生にお話を伺い、その独創的な発想と常に新しいアプローチから作られる、数々の建築作品に注目しました。

また、発表以来、多くの反響をいただいているフレッシュパークの初稼働をはじめ、話題の東京スカイツリータウン、これからの電気自動車対応など、多岐に渡る情報をご紹介させていただきました。皆様の日々のお仕事の中で、何か少しでもヒントになればこの上ない幸いです。

厳しい時代ではありますが、日精はこれからも皆様にご満足いただける駐車設備を提案してまいります。何卒変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

クロス銀座

「織り」をイメージしたファサードが映える、銀座エリアの新複合ビル

文明開化の頃より続く老舗が数多く軒を連ねる一方、戦後は日本屈指のブランドストリートとして、流行に敏感な大人たちを魅了し続けてきた銀座。そんな伝統と先進が凝縮された高級商業エリアに、昨年九月、店舗・オフィスの複合ビル「クロス銀座」が誕生しました。

東京メトロの銀座駅と東銀座駅をつなぐ地下通路の出口から徒歩一分。銀座のメインストリートである中央通りから南側に入った三原通りの一面に位置し、周辺には銀座コアビルや松坂屋本館があります。

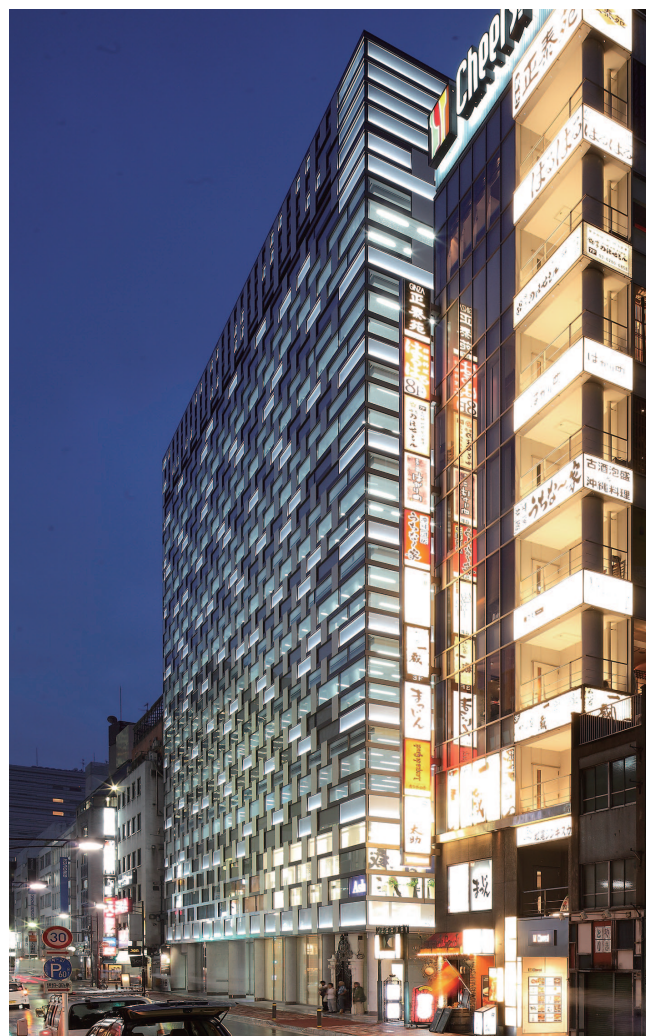
建物を包む「織り」をイメージしたスタイリッシュなファサードにより、窓と層間で構成されたオフィスビルのなデザインとは異なり、開くガラスと閉じるパネルが機能と用途で変化してグラフィカルな外観を表現します。

また、このファサードは街に対する賑わいを表現する一方で、内外の視界や環境負荷を制御する役割も果たしてい

ます。一般的にオフィスビルは、夜間には明かりがまばらになり、商業地の賑わいを与えることが少ないもの。しかし、クロス銀座は夜間に暗がりになる層間部にLED照明をランダムに設け、昼間の外装と反転させることで、通りの夜景を演出して街の賑わいと活気にも貢献しています。

ビルの規模は地下一階地上九階建て。一階と二階が店舗フロア、三階から九階がオフィスフロアとなっており、銀座エリアでは希少な専有面積約百九十坪(基準階の広さを誇ります)。

銀座の街にふさわしい端正な趣きと先進のスペックを備えたクロス銀座の誕生により、今後開発が期待される三原通りは、これまでに以上に大きな注目を集めています。



クロス銀座外観



ハイルーフ車の収容高さ確保した乗り込み口

【建築概要・規模】 ■建築主／株式会社大丸松坂屋百貨店
■プロジェクト・マネジメント／興和不動産株式会社
■敷地面積／1,072.94㎡ ■建築面積／900.26㎡
■延床面積／8,555.16㎡ ■構造規模／地上9階、地下1階、棟屋1階
■設計・施工／株式会社竹中工務店

【駐車設備概要】 ■機種／CSパーキング<平面往復方式>
■型式／CSLSR3-4-5B-51B
■収容台数／51台